

君知るや、今、科学者、否国民一人一人に科学とは何か、科学者のあり方、大学のあり方が深刻に、問われていることを。今、人類が未曾有の科学・技術の革命期にあることを。

カーツワイルは2045年をsingularity、人類にとっての特異点と予測した。しかし、機械が人間を超える日、人間が人間を超える日は、もっと早くに来るのではないか。今やインターネット社会革命は全地球を覆い、思想、哲学は立ちすくむ。国際秩序にパワーポリティクスが鎌首をもたげる。戦後71年、戦争を生き抜いた人々はほぼ絶え、もはや戦争の記憶も減しそうだ。

君知るや、いつのまにか特定秘密保護法が施行され、武器輸出が解禁され、ついに憲法で禁じられた集団的自衛権を認める安保法が施行。政府は今、治安維持法を彷彿とさせる共謀罪の法制化に邁進している。文字通りのJapan is Back。政府は軍民両用研究推進のための検討会「安全保障と科学技術に関する検討会」を設置するという報道もあった。今、防衛装備すなわち軍備増強に狂奔する悪魔が蘇り、軍民両用と称して、札束をちらつかせてすりよる。君よ、よく目を見開いて見るがよい。これはれっきとした大学動員ではないか。かつて大日本帝国は満州の權益に執着し、自衛の名のもとに日中戦争、太平洋戦争へと突入していった。兵力増強に行き詰った政府軍部はついに、学徒動員、そして特攻にまで突き進んだのではなかったか。今、その戦争準備の歴史をそっくりそのまま日本は繰り返しているではないか。

君知るや、戦時の現実下、いずれの国の科学者たちも取り返しのつかない過ちを犯したのだった。九州帝国大学の医師は米兵捕虜を生体解剖し、京都帝国大学出身の軍医、石井四郎は731部隊を率いて中国で一体何をしたのか？ アインシュタインはナチスドイツに先んじて原爆の開発を進めるようルーズベルト大統領に進言した。マンハッタン計画が進められ、原子爆弾が広島・長崎の上空で炸裂し、世界は変わってしまった。過去の記憶を忘れる者は過去を繰り返すよう運命づけられている。子曰く、過ちて改めざる、これを過ちと謂う。ある者は言う。科学者は社会の要請に応えねばならぬと。不可也、断じてそうではない！ 科学者は現実を觀じ、人類の幸福な未来にcommitする。それが科学者の使命ではないか。科学者は時代の理念の高さに生きねばならぬ。

君知るや、アインシュタインのあの晩年の苦悩の表情を。オープンハイマラーの末路を。ラッセル・アインシュタイン宣言の核心を。同宣言は謳う。人間性を心に留め、そしてその他のことを忘れよ。彼ら(政府)に、彼らの間のあらゆる紛争問題の解決のために平和的手段を見い出すよう勧告する。

1948年2月、世界科学者連盟は科学者憲章を定めた。To study the underlying causes of war. To aid agencies seeking to prevent war and to build stable bases for peace. これこそが科学者の責任、人としての世界に対する責任ではないか。君よ、今こそ我らは、日本の科学者の誓い、日本学術会議声明を、朝日に匂う桜が如く心に蘇らせるのだ。『軍事目的のための科学研究を行わない』そして、『戦争を目的とする科学の研究には絶対従わない』。

学ぶ
創る
遊ぶ